

令和4年度 シラバス

教科	科目名	対象学科・系列	学年	単位数	必・選	備考	
福祉	生活と福祉Ⅱ	総合・福祉系列	1	2	系列必修	学校設定科目	
授業概要	「高齢者福祉」を中心とし、「福祉に関する一般教養」の観点から、生涯にわたる健康と生活の管理及びそれを支える社会保障・福祉制度について学ぶ。						
学習の到達目標	社会福祉に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
課題・提出物等	(1)定期的に配布する復習プリントに取り組み、提出する。 (2)提示された課題について、調べたことや考えたことをレポートにまとめ、提出する。 (3)学期中の指示された時期に、ノートを提出する。						
評価方法	授業態度・発問評価・定期考査・ワークシート・提出物等から総合的に評価する。						
観点別評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
比重・点数	1	(34点)	1	(33点)	1	(33点)	
教科書・教材	『生活と福祉』（7実教 家庭2）、『生活と福祉 学習ノート』（実教出版） 教員作成資料(スライド、図書資料、ワークシート等)						
関連科目	『生活と福祉Ⅰ』（1年次/2単位）						
授業計画							
学期	月	時数	学習内容			学習のねらい・目標	
1 学 期	4	6	1	1-1	体位変換	・高齢者にみられる心身の変化に対応した体位変換、歩行介助、車いすの移乗・移動、食事、ベッドメイキング、シーツの交換、衣服の着脱、身体の清潔方法など基本的な介護技術を習得する。	
			2	介	1-2		ベッド上の体位変換
			2	護	1-3		歩行介助
	6	4	の	1-4	車いすの移乗・移動の介護		
			2	実	1-5		食事の介護
			6	習	1-6		ベッドメイキング
	9	4		1-7	衣服の着脱の介護		
			2		1-8		身体の清潔の介護
			2		1-9		排泄の介護
2 学 期	10	2	2	1-1	家庭看護の意味	・家族が病気になったときの基本的な看護の心構えを理解する。 ・体温・脈拍・呼吸・血圧測定など看護の基本的な技術を習得する。 ・熱中症やのどにものが詰まったときなどの応急手当について理解する。	
			4	看	1-2		バイタルサインの見方
	11	2	護	1-3	口腔の清潔		
			の	1-4	誤嚥と窒息		
	2	2	実	1-5	転倒と骨折		
			習	1-6	低温やけど		
	12	2		1-7	脱水		
				1-8	熱中症		
				1-9	高血圧と低血圧		
				1-10	糖尿病		
3 学 期	1	2	3	1-1	生活支援の考え方	・高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、調理、衣類の洗濯や補修、掃除、買い物など生活援助に関する技術を習得する。 ・レクリエーションの意義と目的を理解し、高齢者に応じたレクリエーションを考察する。	
			4	生	1-2		「衣」の生活支援
			4	活	1-3		「食」の生活支援
	2	2	支	1-4	「住」の生活支援		
			援	1-5	高齢者の販売取引トラブル		
				1-6	レクリエーション		
-	-	-		1-7	高齢者福祉施設の見学	・高齢者福祉施設の見学やボランティア活動を通して高齢者に関する知識や技術をいかし、より理解する。	
				1-8	ボランティア活動の参加		
学習時間合計	70						